

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年5月19日（火）

2 確認箇所

増設雑固体廃棄物焼却設備（図1）

3 確認項目

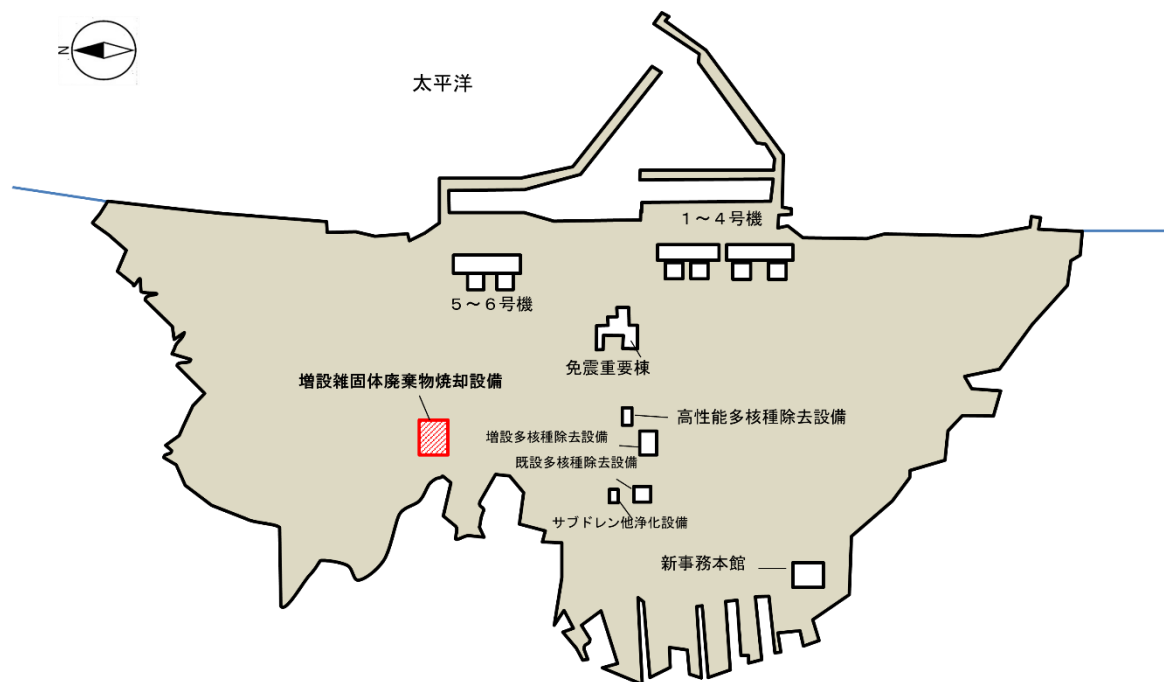
増設雑固体廃棄物焼却設備復旧工事及び再発防止対策の状況

4 確認結果の概要

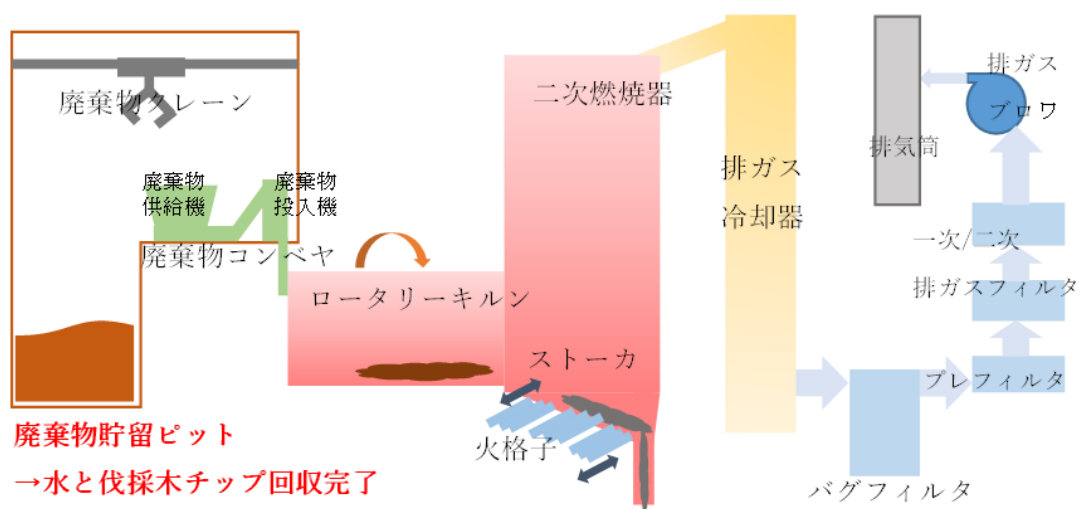
東京電力では、令和6年2月に発生した増設雑固体廃棄物焼却設備（以下「増設焼却炉」という。）の廃棄物貯留ピット（以下「ピット」という。）における伐採木チップからの水蒸気・ガス発生及び火報発報事案を受け、ピット内のチップ・水の回収とともに、原状復旧や再発防止対策の工事を実施している。

これまでに、令和6年12月にチップ・水の回収が完了し、令和8年4月には原状復旧工事が完了したことから、今回、原状復旧工事等の状況に加え、現在進められている再発防止対策工事の状況を確認した。（図2）（前回確認：[令和7年10月17日](#)）

- ・原状復旧工事について、ピットの補修や廃棄物クレーンの把持部のほか、廃棄物供給機及び廃棄物投入機のケーブル等の交換が完了していた。併せて、計器類・盤類が更新されていた。（写真1）
- ・また、建屋内の各所で見られたタール状の物質の付着やコンクリートの継ぎ目部分の変色部について、清掃・塗装が施されていたほか、破損・漏えいが発生した継ぎ目部分についても補修が完了していた。（写真2）
- ・再発防止対策について、廃棄物の大量積載を抑制するためのピット改造（仕切り壁の設置等）工事に向けた準備作業が進められていた。（写真3）
- ・その他、現場確認時において、灰詰め用のハウス設置などの安定運転に向けた対策工事のほか、バグフィルタの交換、各機器類の動作確認等の作業が行われていた。（写真4）
- ・東京電力によれば、8月からの再稼働に向けて、引き続き、再発防止対策工事や設備全体の点検作業等を実施していく、とのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図 (東京電力資料を参考に作成)



(写真 1 - 1)
廃棄物供給機及び廃棄物投入機①
(コンベアモーター部を更新)



(写真 1 - 2)
廃棄物供給機及び廃棄物投入機②
(廃棄物輸送用コンベアを更新)



(写真 1 - 3)
ピットから廃棄物を取り出す把持用
クレーンの設置場所①



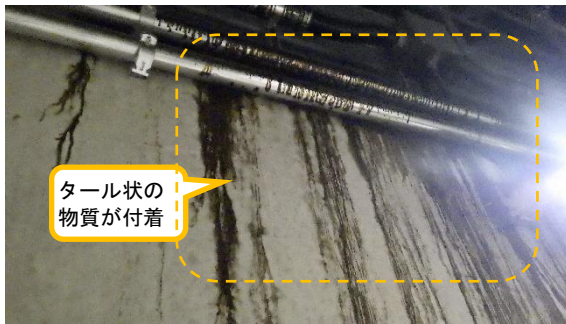
(写真 1 - 4)
ピットから廃棄物を取り出す把持用
クレーンの設置場所②



(写真 1 - 5)
新設された制御盤等①



(写真 1 - 6)
新設された制御盤等②



(写真 2－1)
 廃棄物貯留ピットの外壁
 (タール状の物質が付着した部分
 (清掃前))
 ※令和 7 年 1 0 月 1 7 日撮影



(写真 2－2)
 廃棄物貯留ピットの床面
 (変色部分は、清掃済み)



(写真 3－1)
 廃棄物貯留ピット内底部における
 足場の設置状況①



(写真 3－2)
 廃棄物貯留ピット内底部における
 足場の設置状況②



(写真 4－1)
 安定運転に向けた対策① (灰移送ルート取り付け)



(写真 4－2)
 安定運転に向けた対策② (灰詰めハウス設置)



(写真 4－3)
焼却炉内の詳細点検①
(バグフィルタの交換作業①)



(写真 4－4)
焼却炉内の詳細点検②
(バグフィルタの交換作業②)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。